



CA DATA NIGHT



# J1サッカークラブにおける データ分析と現場実装の最前線

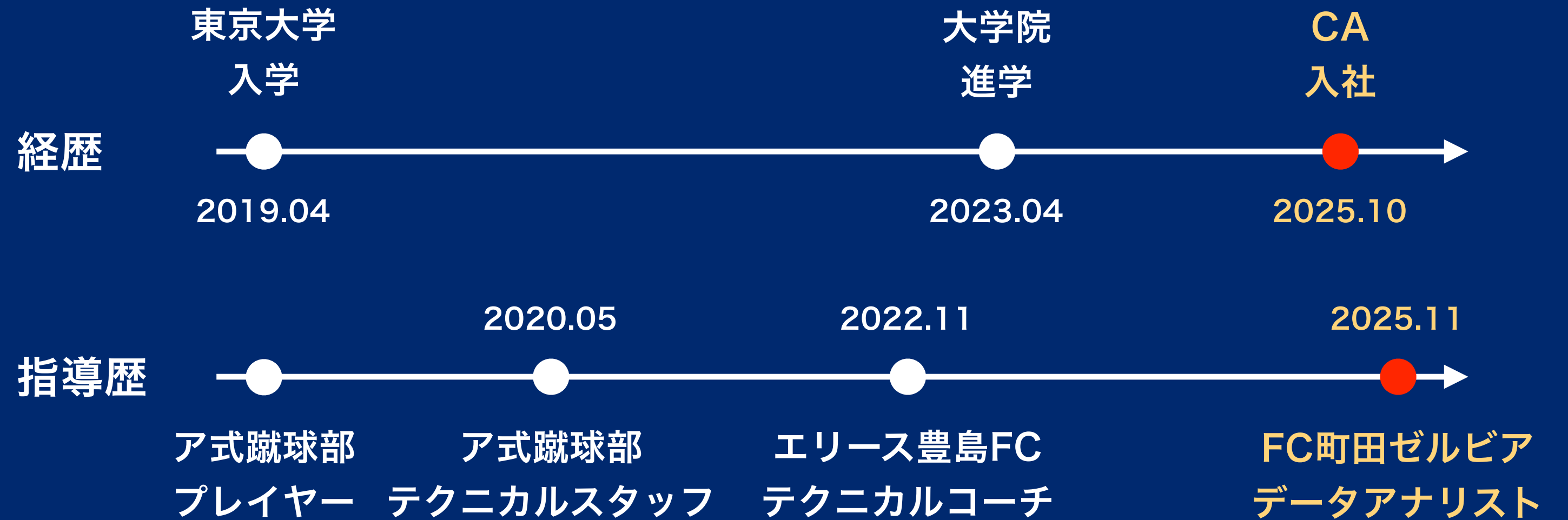
2026.05.21 木下慶悟



# 自己紹介



氏名 : 木下慶悟  
 生年月日 : 2000年3月26日 (26歳)  
 出身 : 埼玉県さいたま市  
 所属 : FC町田ゼルビア 強化部  
 データテクノロジーグループ  
 /CA メディア統括本部 DSC



データサイエンス, 統計物理学, スポーツアナリティクス



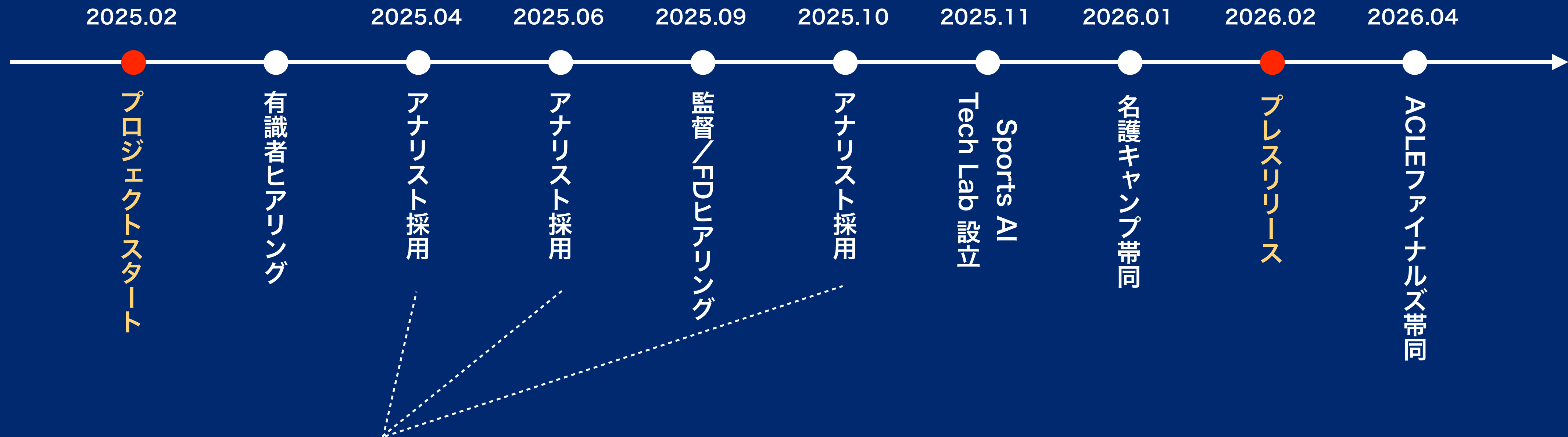
# 目次



1. グループ設立の背景と現場の課題
2. アプローチの全体像と役割
3. 戦術領域におけるデータ分析・実装
4. まとめと今後の取り組み



# 設立までの経緯

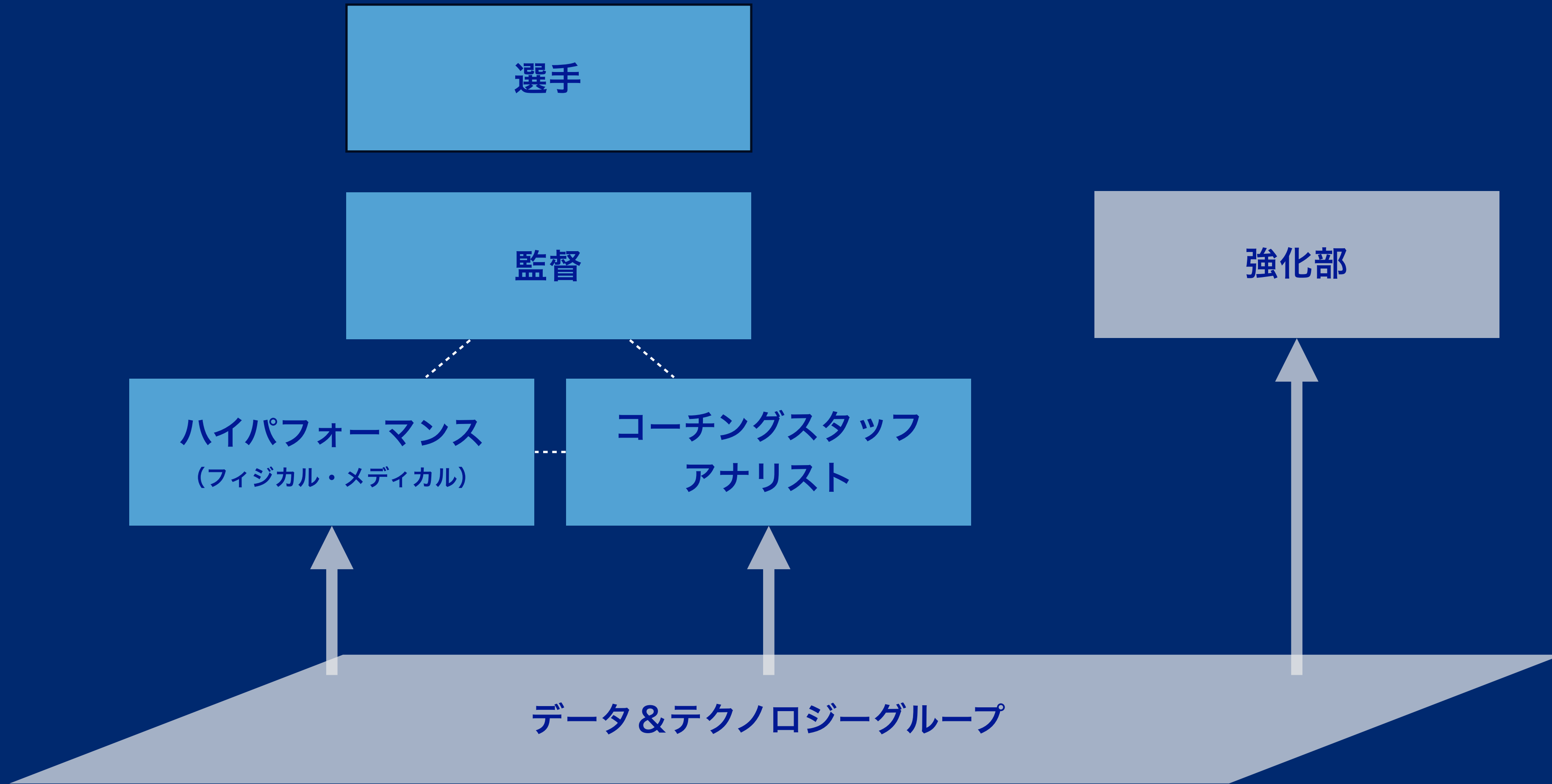


## スポーツ現場の当たり前を知っており，現場と技術のギャップを埋める

- オリックス・バファローズ/千葉ロッテマリーンズ (プロ野球) 元アナリスト
- 東海大学附属高輪台高等学校→ロンドンサムライローバーズ
- 東京大学ア式蹴球部→エリース豊島FC



# データ & テクノロジーグループの支援体制





# データ & テクノロジーグループの目標と領域



目標 ▶▶▶

プロサッカーチームを支える日本No.1の技術者集団

領域 ▶▶▶

国内最高のソリューションを提供

ハイパフォーマンス

戦術

編成



クラブとしての  
データ蓄積と分析

効率的な  
プロセスの実現

カスタマイズ可能な  
レポーティング

意思決定への活用

## データサイロ

情報が分散し、統一された  
データ管理ができないため、  
情報共有や分析が困難

## 業務の属人化

各々が独自のデータ蓄積を  
行っており、手動でレポート  
を作成するため、作業が長時  
間になる

## ツールの限界

既存ツールではカスタマイズ  
が難しく、操作性と視認性が  
低い

## データ解釈の複雑性

データを算出したは良いもの  
の、それを解釈し、活用する  
難易度が非常に高い



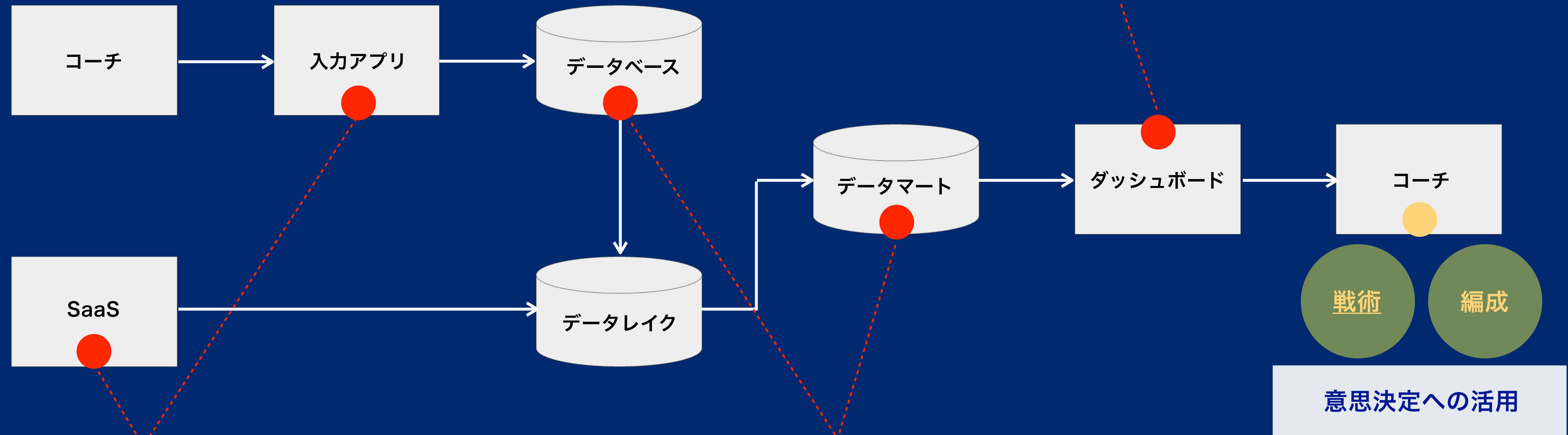
# データプラットフォームの構築とデータアナリストの役割



## 業務の属人化を防ぐ

- AWS・DBRX製品を中心に構築

→ データの流れ



## レポート作成の効率化

- 手動入力や手動変換を極力少なくし、レポート作成までの時間を短縮
- デザインをゼルビアカラーに統一

## データサイロを防ぐ

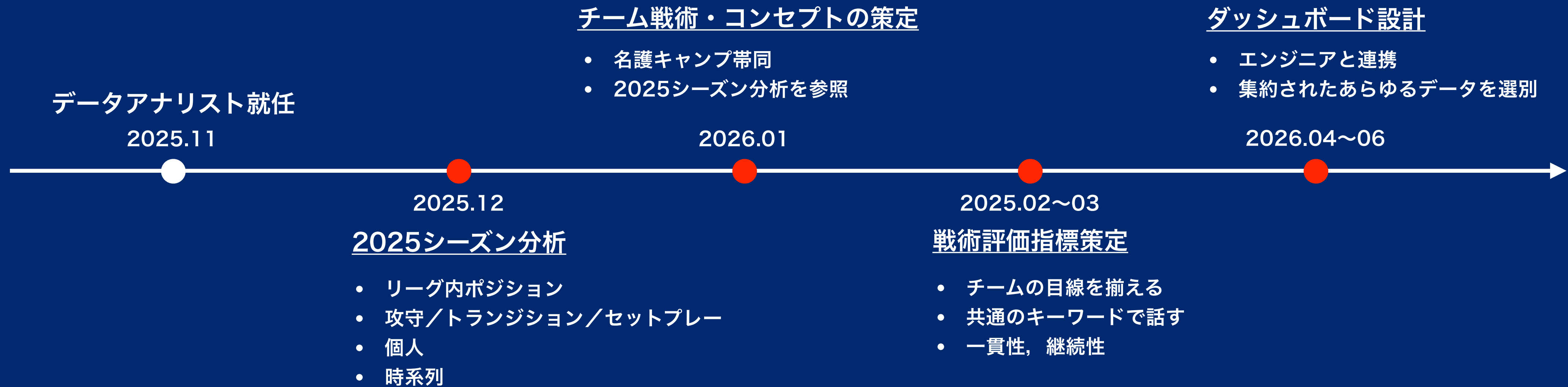
- スタッフ・コーチがこれまで個別に保存していたデータや各データプロバイダーからの取得データをクラウドへ蓄積
- 選手の怪我・症病・治療情報を入力

## データモデリングとデータガバナンス

- 選手・試合・練習を中心としたモデリング
- きめ細かいアクセス制御

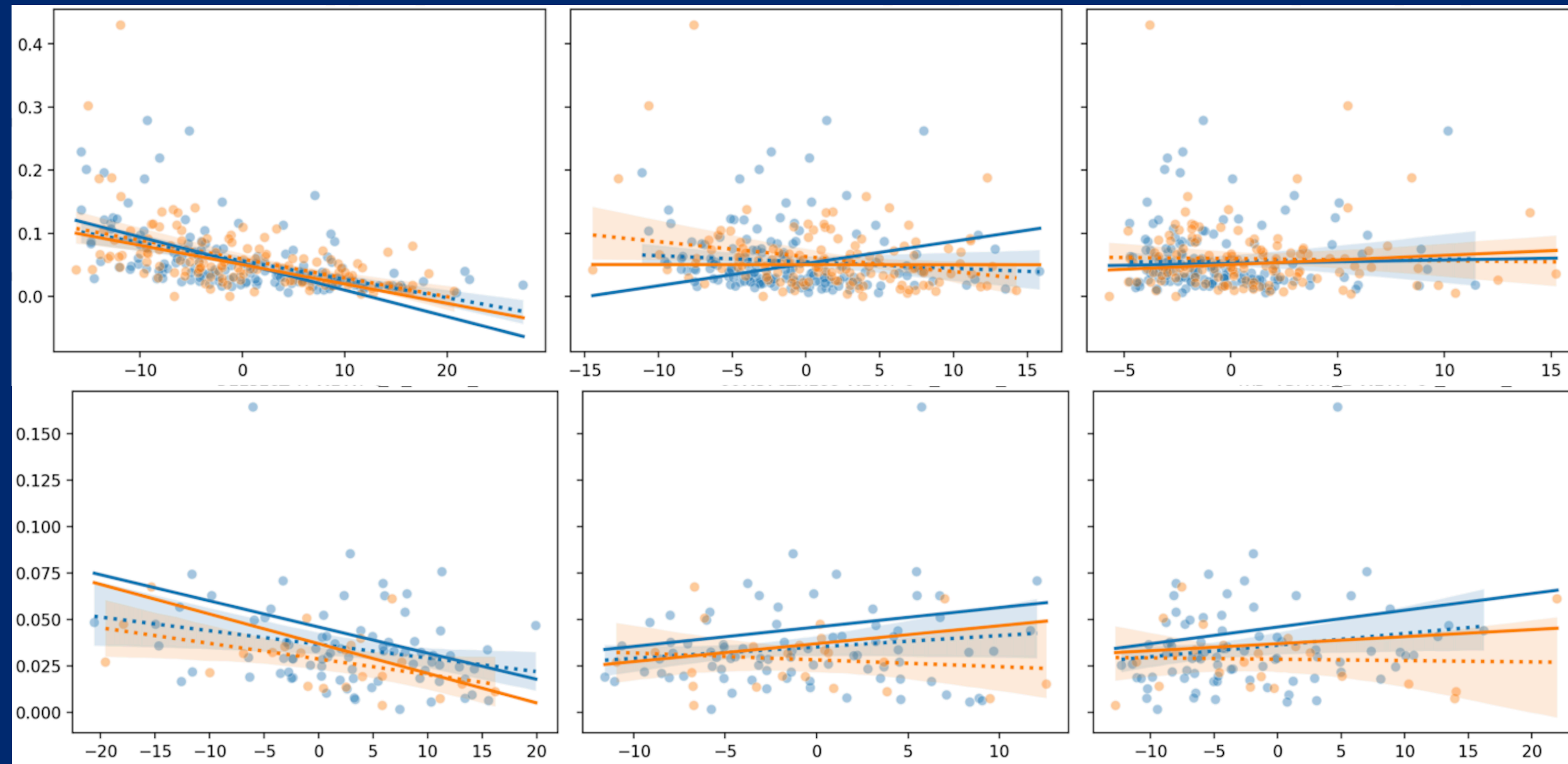


# 戦術分析の歩み





# 2025シーズン分析



スタッツ集計→深掘り  
例えば.. 【攻→守ランジション】

A  
ロスト後再奪取率 : 30%  
ロスト後被シュート率 : 15%

B  
ロスト後再奪取率 : 10%  
ロスト後被シュート率 : 5%

どちらが良い守備か？

→状況・展開・局面・陣形などに依存

分析対象をデータで厳密に定義・抽出し，他のあらゆる交絡因子をコントロールして統計解析を行う



# 戦術評価指標策定

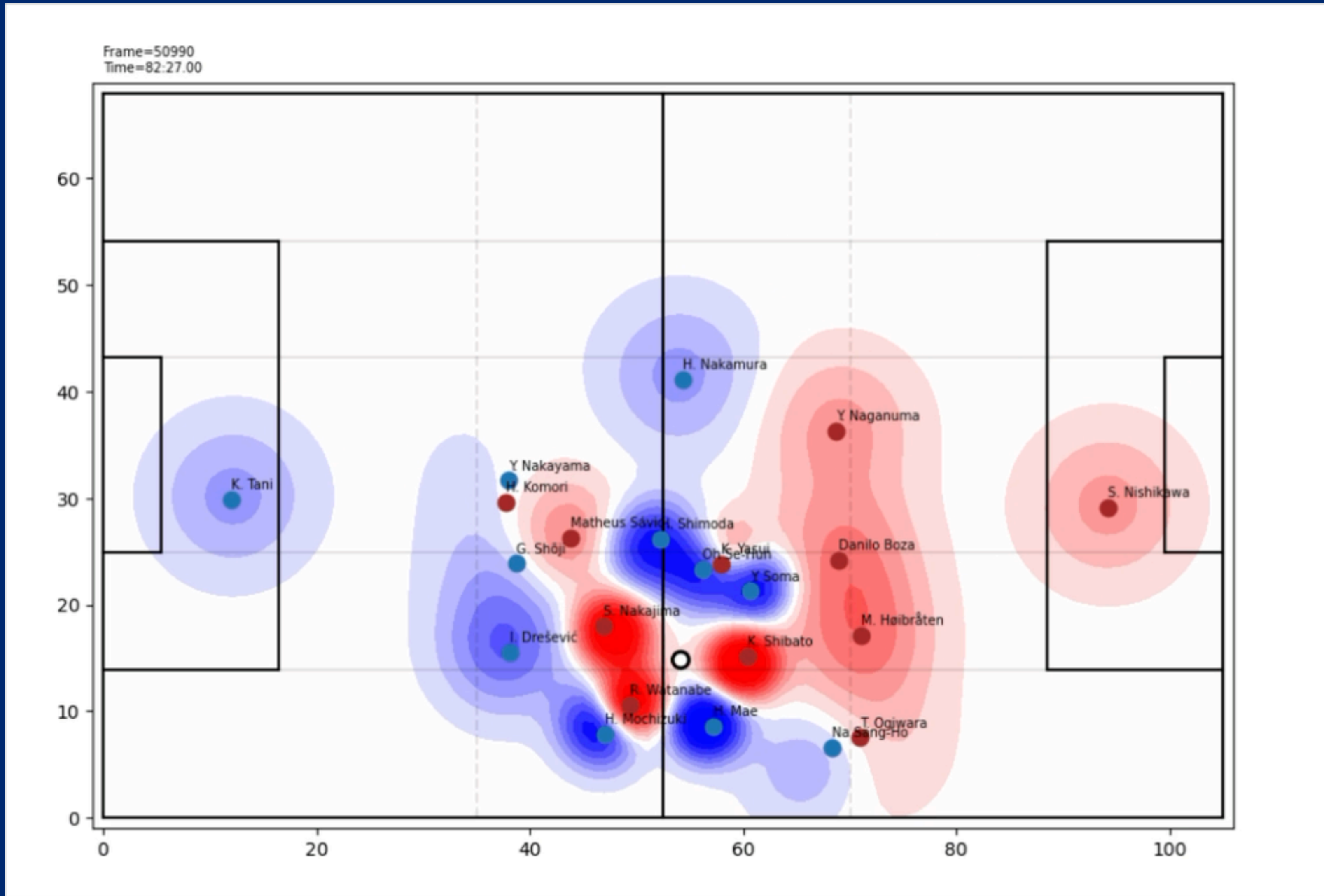


1. 戦術・コンセプトと完全に紐づくか
2. 試合内容・結果と強く関連するか
3. 直感的にわかりやすいか

を基に評価指標を策定



# データの可視化





# ダッシュボード設計



個別試合分析

データソース: Impect、SkillCorner | データ更新日時: YYYY/MM/DD HH:MM

---

### 試合情報

町田ゼルビア 2 - 1 対戦相手A

1 前半 1  
1 後半 0

コンペティション: 明治安田J1百年構想リーグ | 日程: 2026-01-01 (中X日) | 会場: 埼玉スタジアム(A) | APT: 56:23

### 試合経過

4'	平河 悠	⚽
35'	パスケス バイロン	🟡
56'	山田 太郎 → 佐藤 健一	🟢
64'	田中 浩	🟡
65'	パスケス バイロン → 藤本 一輝	🟢
65'	柴戸 海 → 下田 北斗	🟢
65'	仙頭 啓矢 → 安井 拓也	🟢
70'	マイケル スミス	🟡
79'	オセファン ミッチェル デューク	🟢
79'	仙頭 啓矢 → 安井 拓也	🟢
79'	鈴木 茂	🔴
84'	下田 北斗	⚽
87'	伊藤 誠 → 中村 昭夫	🟢
87'	加藤 進 → ジョン エドワーズ	🟢

### 出場選手

	選手名	出場分數	Metrics A	Metrics B
FW	オ・セファン ⚽	79	000	000
	ミッチェル デューク ⚽	11	000	000
	藤尾 翔太	90	000	000
MF	平河 悠	90	000	000
	パスケス バイロン ⚽	65	000	000
	藤本 一輝 ⚽	25	000	000
	柴戸 海 ⚽	65	000	000
	下田 北斗 ⚽	25	000	000
	仙頭 啓矢 ⚽	65	000	000
DF	安井 拓也 ⚽	25	000	000
	中山 雄太	90	000	000
	昌子 源	90	000	000
	ドレシエヴィッチ	90	000	000
GK	望月 ヘンリー海輝	90	000	000
	谷 晃生	90	000	000

---

### 攻撃

指標名	自チーム	相手実績
シュート数	14	11
シュート決定率	21.4%	9.1%
xG	1.15	0.25
xG決定力	-0.15	-0.25
PSxG	0.95	0.15
PSxG決定力	+0.05	-0.15
ボール保持率	46%	54%
Metrics A	000	000
Metrics B	000	000
Metrics C	000	000

### 守備

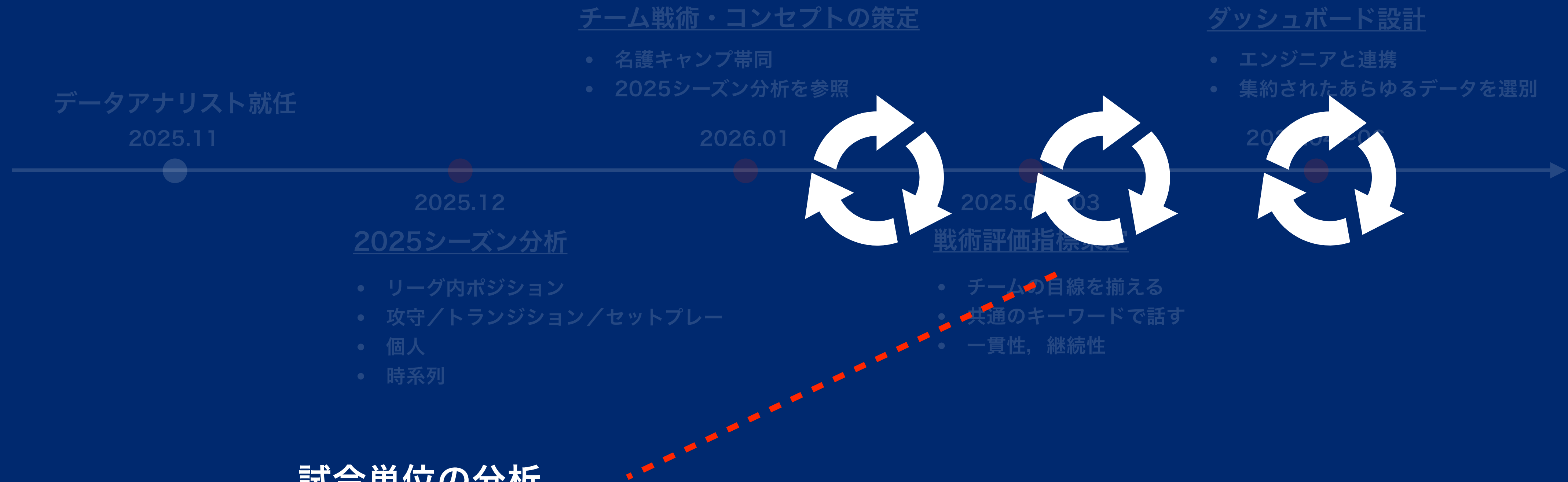
指標名	自チーム
被シュート数	14
被シュート決定率	21.4%
被xG	1.15
被xG決定力	-0.15
被PSxG	0.95
被PSxG決定力	+0.05
被ゴール脅威値(+)	46%
Metrics A	000
Metrics B	000
Metrics C	000
Metrics D	000
Metrics E	000
Metrics F	000
Metrics G	000
Metrics H	000

## 試合個別分析

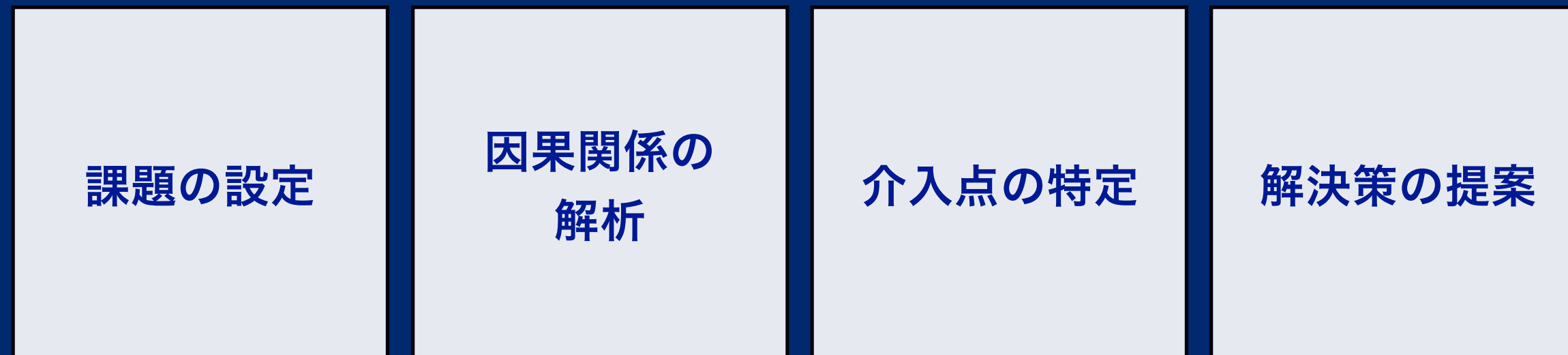
- 個人指標
  - 対戦相手との比較
  - 過去試合との比較
  - 時系列変化
- を網羅



# 試合単位の分析サイクル



## 試合単位の分析



長期と短期サイクルを並行して進める

→定性・定量の両方向から課題設定が可能に  
= 「仮説検証の材料」から「仮説構築の材料」へ



## まとめ



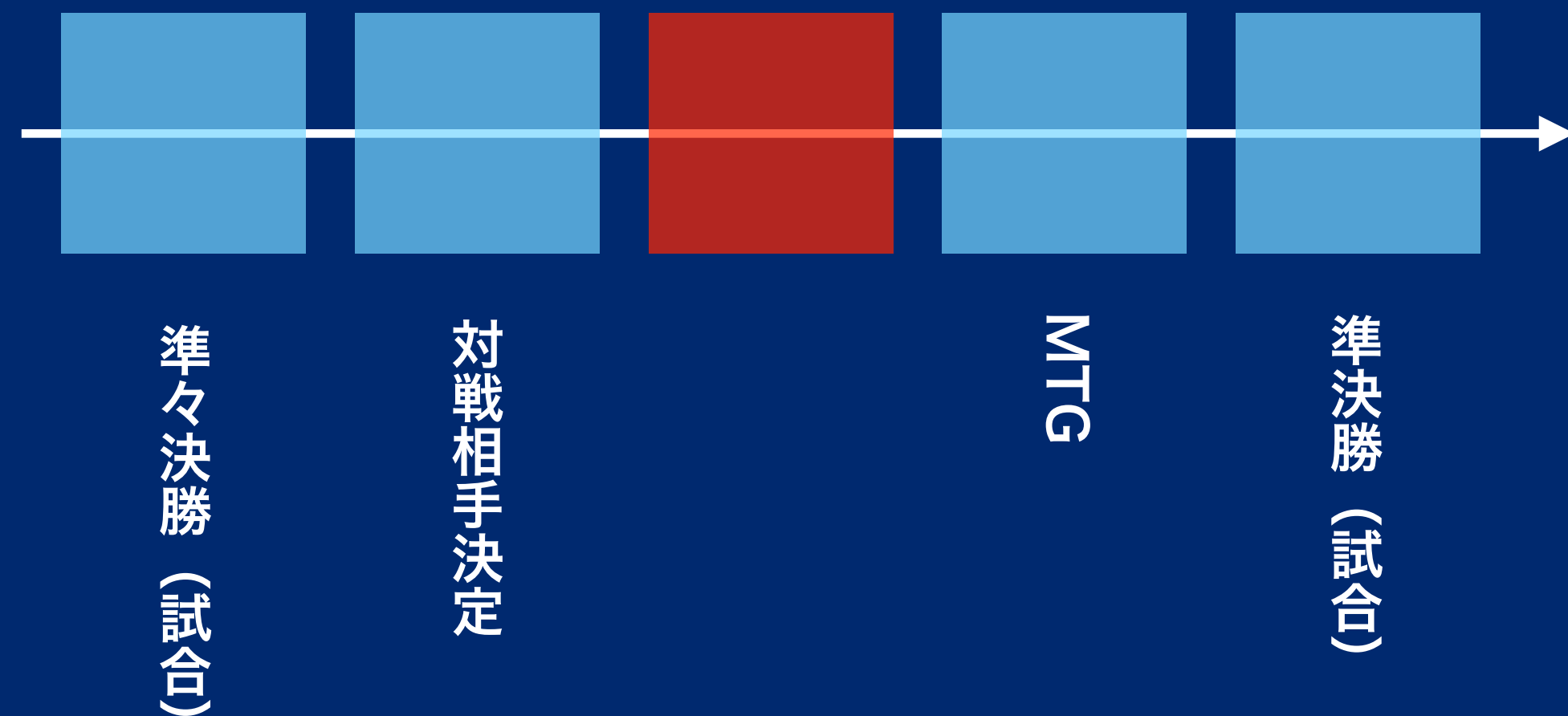
- **信頼関係の構築, 単なる技術者ではなくチームの一員に**
  - 外見・服装・姿勢・距離感・振る舞い・コミュニケーション
- **定性, ドメイン知識を泥臭く探求し続ける, 定量に逃げない**
  - あらゆる分野を横断して着想を得る
- **データを分析するだけでなく, 現場の言葉で意思決定に繋げる**
  - 現場の仮説検証から仮説の提示と解決策の提案まで



# 今後のロードマップ

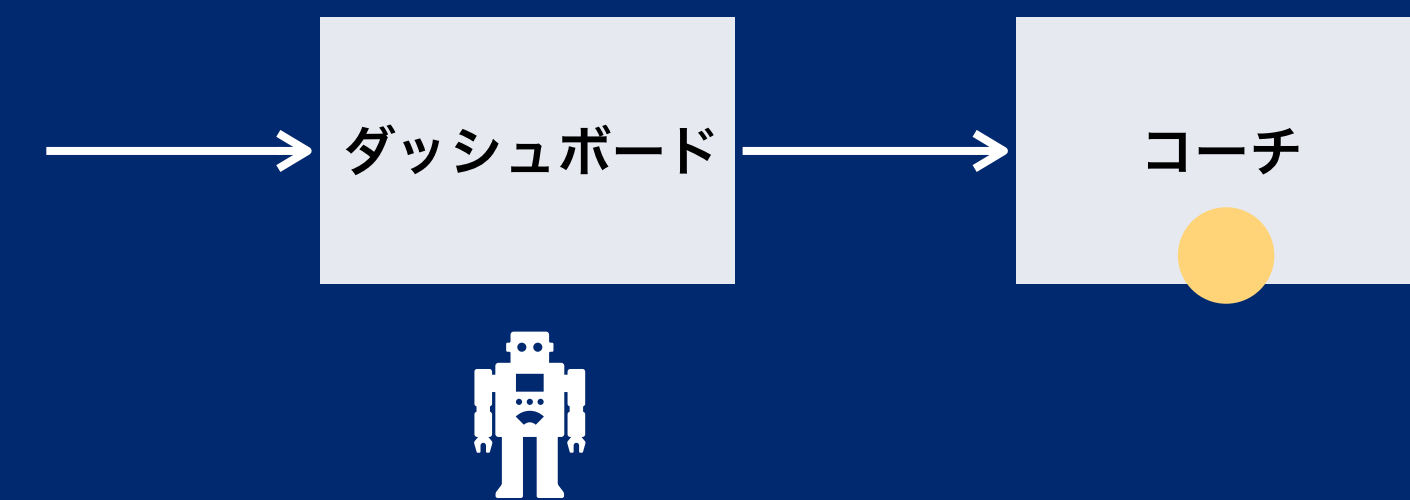


## ACLEファイナルズで感じた課題



→ 超過密日程

## 対戦相手分析の自動化



AIエージェントの本格運用  
自チーム分析+対戦相手分析

- コーチの定性的視点
  - データアナリストの定量的視点
- を統合したプロンプト設計



# 今後のロードマップ



## リアルタイムのデータ取得・分析



評価指標をモニタリング，試合中の采配に活用